

第3学年〇組 美術科学習指導案

活動場所 美術室

指導者 高野 敦史

題材におけるテーマ	日本美術のよさを味わいながら、美術作品の見方、感じ方を深める学習指導の工夫 —第3学年の名画鑑賞会における対話形式鑑賞を通して—
-----------	---

1 題材名 主役は富士さん～富嶽三十六景の魅力に迫る～

2 題材について

鑑賞は、美術作品などを見ることによって、よさや美しさを感じ取り、作品が訴えかけるものを感じ取ることで心を動かされる。そのために、授業では作品の見方や感じ方を身に付け、作品に表現されたものを豊かに感じ取り、さらに広げられるようにしていかななくてはならない。中学校学習指導要領解説美術編（平成20年9月）には、鑑賞の能力を、説明し合ったり、批評し合ったりするなど言語活動の充実の中で育成することの必要性が述べられている。言葉で考えることにより、漠然と見ていたものが整理され、さらに、他者との意見交換によって気付かなかった価値に気付くことができ、見方や感じ方が深まることが期待できる。また、中学校学習指導要領（平成20年3月告示）では、日本の美術文化への理解を深めることも求められている。近代日本では、国際文化が多角化され、日本の美術文化のよさについて考える機会が少ないように思われる。古来の日本文化に触れると共に、現代の日本の美術文化について考えることで、日本の美術文化の理解が深まることが期待できる。

第3学年〇組の生徒の実態（男子*名、女子*名 合計*名）は、表現・鑑賞活動とともにまじめに取り組む生徒が多い。7月に行ったアンケートによれば、「自分や友達の良いところや課題について、自分の考えをもてるようになった。」「自分や友達の良いところや課題について、自分の考えを述べたり、友達の意見を聞いたりすることが増えた。」という生徒は、約30%であった。このことから、自他の作品から自分なりの考えをもつことがまだ不十分であると考えられる。表現力をより高めるために、生徒が自他の作品から自分の考えや思いをもち、考えを出し合えるようにしたい。また、「美術作品を鑑賞するとき、形や色彩だけでなく、様々な視点で作品のよさや工夫を感じ取ることができるようになった。」という生徒は約60%であった。この結果から、美術作品を通して自分の考えや思いをもつための学習を行い、さらに自他の作品の鑑賞に生かせるように指導していきたい。

そこで本研究では、作品の見方や感じ方を広げるために、「対話形式鑑賞」を試みる。話合いや発表を取り入れた鑑賞の学習を展開することで、様々な考えや思いを知る機会を増やし、新たなことに気付くことで、見方や感じ方を深めていく学習ができるであろうと考えた。言葉で考え、整理していくことは、美術作品のよさや美しさの要素を明らかにすることにつながる。また自分の考えを説明したり、相手の考えを聴いたりすることで、より効果的に絵の見方や感じ方を深めることができると考えた。また、日本の名画を教材として活用することにより、日本の美術文化に対する理解も深めていきたい。そのために「富嶽三十六景」（作者：葛飾北斎 1760-1849）を、鑑賞用教材として活用する。「富嶽三十六景」は、葛飾北斎の代表的な作品であり、日本絵画の傑作の一つである。全部で46枚あり、「凱風快晴」や「山下白雨」のように、富士山を画面いっぱいに描いた作品から、「神奈川沖浪裏」や「甲州伊沢暁」のように遠景に配置したものまであり、四季や地域ごとに多彩な富士山のみならず、各地での人々の営みも生き生きと描写している。茨城大学教授の金子一夫氏の論文によれば、「富嶽三十六景」は等分割された格子に合わせてモチーフが配置されていたり、焦点が富士山にいくように風景が描かれていたり構図が工夫されていると述べられている。また、作者は測量学や占星術を学ぶなど多才であり、「富嶽三十六景」にもその経験が生かされている。「富嶽三十六景」の魅力に迫ることによって、多くの気付きや考えが出ることを期待される。

以上の鑑賞用教材の活用し、話し合う場を工夫して設定することで表現力を高め、日本美術のよさを味わいながら、美術作品の見方、感じ方を深めたい。

（「美術の方法論の理解を目的とする鑑賞教育（4） 1999年）

3 目標

- 美術作品に関心をもち、主体的に見方や感じ方を深めようとしている。（美術への関心・意欲・態度）
- 感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取って味わったり、美術文化を理解したりすることができる。（鑑賞の能力）

4 鑑賞教育の指導計画と評価計画（8時間計画）

時	学習課題・活動	評価規準
1 学期	1 鑑賞を楽しもう ・鑑賞学習の1年間の流れを知る。 ・テーマ、目標、学習の流れを知る。 話合いや教師の話を通して、表現、作者や時代背景などを理解し、美術作品の鑑賞の楽しさを味わう。 *校内に展示してある複製画を活用する。	(関) 鑑賞に関心をもち、意欲的に活動しようとしている。 (鑑) 美術作品の表現の特徴や個性的な表現を感じ取り、理解している。
	2 美術文化のよさや美しさを味わおう ・美術館員や教師の話を通して、表現、作者や時代背景などを理解し、美術作品の鑑賞の楽しさを味わう。 *茨城近代美術館のハローミュージアムを活用する。	(関) 美術文化のよさや美しさを味わい、様々な表現方法や作者、時代背景について理解しようとしている。
	3 作者の気持ちになって鑑賞しよう ・グループで話し合っ、課題「作者の意図を読み取ることができる」に迫る。【見比べる鑑賞】 ・ワークシートに、美術作品から読み取ったこと、感じ取ったことを書く。 *よさや美しさの読み取り、感じ取りが漠然としたものにならないように、「なぜそう思うのか」を考える。	(鑑) 美術作品の視覚的な情報からよさや美しさを感じ取り、味わっている。
2 （本 時） 学期	4 友達と語り合おう ・話合いや教師の話を通して、表現、作者や時代背景などを理解し、美術作品の鑑賞の楽しさを味わい、ワークシートに美術作品について自分の考えや思いをもとに批評文を書く。 *校内展示作品（複製画）の鑑賞をする。	(関) 美術作品に関心をもち、意欲的に活動しようとしている。 (鑑) 美術作品には、様々な表現方法があることを理解している。
	5 主役は富士さん～富嶽三十六景の魅力に迫る～ ・グループで話し合っ、課題「自分の考えや思いを伝え合うことができる」に迫る。【対話形式鑑賞】 「富嶽三十六景」 作者：葛飾北斎 1760-1849 ・ワークシートに美術作品について自分の考えや思いを書く。 *読み取ったり、感じ取ったりしたことから、自分の考えや思いをもつ。友達の考えや教師の助言などから、さらに見方や感じ方を広げる。	(鑑) 話合いを生かして作品の魅力について自分の考えや感想を述べたり、批評文を作成したりして、見方や感じ方を深めている。
	6 友達の作品を鑑賞しよう ・自分や友達の作品を、友達と一緒に語り合いながら、よさや美しさを味わう。【ギャラリートーク】 ・鑑賞カードに、自分や友達の作品のよさや工夫などについて文章で表現する。	(鑑) 自他の作品について、表現の工夫や作者の意図を感じ取り、そのよさや美しさを味わっている。
3 学期	7 自分の考えを友達に伝えよう ・グループで話し合っ、テーマ「美術作品について批評文を書くことができる」に迫る。【見比べる鑑賞】 ・ワークシートに、美術作品について自分の考えや思いをもとに批評文を書く。 *友達との話合いや教師の助言などを通して幅広い見方で鑑賞し、そのよさや美しさの理由などについて自分の意見を言葉や文章で表現する。	(鑑) 美術作品の視覚的な情報からよさや美しさを感じ取り、味わっている。
	8 友達の作品のよいところを見つけよう 自分や友達の作品を、友達と一緒に語り合いながら、よさや美しさを味わう。【ギャラリートーク】 ・鑑賞カードに、自分や友達の作品のよさや工夫などについて文章で表現する。	(鑑) 自他の作品の表現の工夫や作者の意図を感じ取り、そのよさや美しさを味わっている。

5 本時の学習

(1) 目標

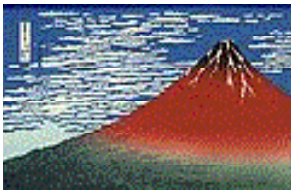
- 日本の名画をもとに、話し合いを生かして、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取ることができる。(鑑賞の能力)

(2) 準備・資料

- 教師…美術作品教材「富嶽三十六景」、イーゼル、プロジェクター、スクリーン、パソコン
- 生徒…筆記用具、ワークシート

(3) 板書

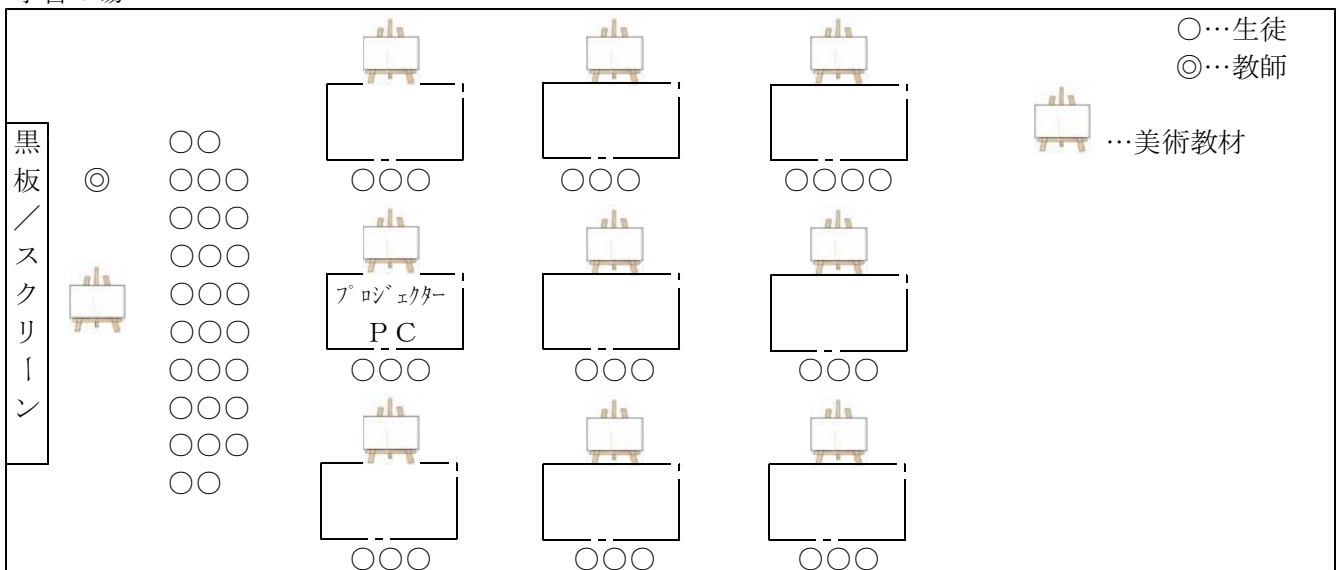
板書 1

<p>鑑賞 題材 主役は富士さん～富嶽三十六景の魅力に迫る～</p> <p>本時の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本時の内容を確認する。 2 作品について印象や思いを出し合う。 3 グループで話し合い、発表する。 4 次時の活動を知る。 	<p>「凱風快晴」から出てきた生徒のつぶやき</p> <p>爽やかな感じがするな。</p>  <p>なんで富士山が赤いんだろう。</p>
--	--

(4) 実践力・表現力を高めるための指導の工夫

- 導入で、生徒個々に山の絵を描く活動を行った後に、「凱風快晴」を取り上げ、構図の違いを見比べることにより、葛飾北斎の発想（構図、構成、効果的な色の使い方や、雰囲気作り等）に気付くことができるようにする。 →自由な発想、考えが出せる雰囲気作りをする。
- 数点の「富嶽三十六景」を準備し、生徒が鑑賞する絵を選択できるようにする。
- 自分が選択した絵のどこに魅力を感じたのかを発表する場を設定することにより、「いいな」と思った根拠を具体化できるようにする。
- グループで話し合う場を設定したり、教師がヒントを準備したりすることで、学習の手がかりにする。
- 自分の考えを整理し、明確にしてから話し合えるように、付箋に自分の考えや思いを書き、それをワークシートに貼りながら自分の考えを述べ合う。
- 本時で習得した学習を実践するために、自他の作品を相互鑑賞する場を次時に設定する。

*学習の場



(5) 展開

学習活動（予想される生徒の姿）・内容	教師の働きかけと評価
<p>1 本時の学習活動の流れなどについて知る。（一斉）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 富嶽三十六景の魅力を探ろう </div> <p>2 白紙を配り、簡単に山の絵を描く。（個人） 予想される構図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央に横から見た構図 <p>3 「凱風快晴」を鑑賞する。（一斉）</p>  <p>(1) 自分の絵と見比べ、構図の違いに気付く。 (2) 「凱風快晴」をじっくり見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんで富士山が赤いんだろう ・空が晴れていて、爽やかな感じがする。 <p>4 「富嶽三十六景」から一点選び、鑑賞を行う。（グループ）</p> <p>①江戸日本橋（えどにほんばし） ②五百らかん寺さざぬどう（ごひゃくらんじさざえどう）</p>  <p>③神奈川沖浪裏（かながわおきなみうら） ④山下白雨（さんかはくう）</p>  <p>⑤甲州三鳥越（こうしゅうみしまごえ） ⑥駿州江尻（すんしゅうえじり）</p>  <p>⑦甲州三坂水面（こうしゅうみさかさいめん） ⑧甲州石班澤（こうしゅうかじざわ）</p>  <p>⑨尾州不二見原（びしゅうふじみはら）</p>  <p>(1) 選んだ絵の魅力について、付箋に自分の考えを書き出してから、それをもとにグループで話し合う。 (2) グループごとに、その絵の魅力について考えをまとめ、発表する。（一斉）</p> <p>5 今時の学習を振り返り、自分の考えや思いをワークシートにまとめる。（個人）</p> <p>6 作者のエピソードや他の「富嶽三十六景」について知る。（一斉）</p>	<p>・生徒から出た印象や、思いなどから本時の活動へとつながるように、生徒のつぶやきを教師が取り上げていくことで、感じたことを自然に出せる雰囲気づくりをする。</p> <p>・それぞれの魅力について、生徒の見方、感じ方を大切に助言をしていく。</p> <p>①江戸日本橋（えどにほんばし）…直線的な川や建物。どんな効果があるか。</p> <p>②五百らかん寺さざぬどう（ごひゃくらんじさざえどう）…床板、屋根の線の延長。富士に目線がいくためのどんな工夫があるか。</p> <p>③神奈川沖浪裏（かながわおきなみうら）…誇張された大波。富士の配置。どんな雰囲気か。</p> <p>④山下白雨（さんかはくう）…大きく描かれた富士。現象的な遠く下方に見える雷。どんな効果があるか。</p> <p>⑤甲州三鳥越（こうしゅうみしまごえ）…樹木が大きく、画面や富士さえも寸断。三色の富士。どんな効果があるか。</p> <p>⑥駿州江尻（すんしゅうえじり）…大風に翻弄される人々。風に霞む簡略化された富士。どんな効果があるか。</p> <p>⑦甲州三坂水面（こうしゅうみさかさいめん）…富士より大きく描かれた水面に映る富士。青み。どんな雰囲気か。点对称的な富士。</p> <p>⑧甲州石班澤（こうしゅうかじざわ）…細かく描かれた石班澤と霞むように描かれた富士。どんな効果があるか。</p> <p>⑨尾州不二見原（びしゅうふじみはら）…大壺からのぞき込むように見える富士。どんな効果があるか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価】（鑑賞の能力）</p> <p>話し合いを生かし、作品の魅力について自分の考えや感想を述べたり、批評文を作成したりすることで、見方や感じ方を深めることができる。（観察、ワークシート）</p> <p>【努力を要する生徒への働きかけ】</p> <p>自分の考えを出し合えないグループには、その絵を選択した理由について、色、形、構図等具体的な言葉で迫るように支援する。</p> <p>【十分に満足できる状況例】</p> <p>作品の魅力について話し合い、富士山の絵の中での見せ方等、作者の意図にまで迫り、自分の考えをお互いに出し合い、ワークシートにグループの意見をまとめている。</p> </div> <p>・次の鑑賞は、自他の作品を相互鑑賞することを予告し、今時の学習が生かせるようにする。</p>